

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

米沢市長 近藤 洋介

市町村名 (市町村コード)	米沢市 (62022)
地域名 (地域内農業集落名)	旧市地区 (徳町、春日一、春日二、花沢一、花沢二、下花沢、東、通町一、通町二、福田町、 太田町、泉町、林泉寺、矢来、舘山、木場町、成島町、中央部)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月28日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、市の中心部に位置し、農業振興地域内農用地区域に該当する農地は比較的少なく、果樹作と水田作が主要な地区である。農業者の高齢化が進み、特に若い担い手や後継者が少なく、今後の地区農業に不安が生じているほか、水田作については未整理田がほとんどで、大型機械での作業が難しいなど、作業効率の悪さが目立っている。

現状を踏まえ、今後地区農業を維持・存続していくためには、新規就農者や地区外からの担い手を確保・育成することや、未整理田・農道等の基盤整備の実施により作業効率や生産性の向上を図っていく必要がある。

【地域における主要な作物】水稻、そば、果樹

(2) 地域における農業の将来の在り方

今後も果樹作と水田作を地区の中心作物として振興し、できるだけ作物ごとに集団化を進め、生産性の向上による農業所得の向上を目指す。特に水田作と飼料作物(デントコーン)は分けけて、害虫発生による品質低下を防ぐ。

大型機械が利用しやすいよう未整理田や農道等を基盤整備し、作業効率と生産性の向上を目指す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	70.72 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	70.72 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

基本的には、農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
地権者や地区外の農業者を含めて、地域で継続した話し合いの場を持ちながら、今後の農地利用の方針や担い手への集積方針の検討を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構を積極的に活用し、担い手や目標地図に位置付けた方へ優先的に貸し付けていく。チャリンなどを活用し、農地中間管理機構の仕組みなどについて理解を深める。
(3)基盤整備事業への取組方針
大型機械が利用しやすくなるよう未整理田や農道等の基盤整備を推進し、作業効率と生産性向上を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
後継者が不足しているため、果樹団地の存続のためにも新規就農者を募り、今後担い手となり得る者の確保・育成を進め、水田作については他地区からの担い手の確保を進める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣被害防止対策

有害鳥獣による被害防止のため、電気柵を設置する。

③スマート農業

作業負担の軽減や作業効率の向上のため、農業用ドローンなどのスマート農業機械の導入を推進する。

⑤果樹等

天気や気候に左右されないよう、果樹の耐候性の確保に努める。

⑦保全・管理等

多面的機能支払交付金を活用するなどしながら、農地周りの草刈りや水路の清掃など共同で行う。